

令和5年度

東京都高齢者施設等のBCP策定支援事業

BCP策定講座

自然災害編



東京都福祉局
高齢者施策推進部施設支援課

本講座のねらい

BCPの

- ① 基本的な考え方の理解
- ② 策定方法/見直し方法の理解



自施設・事業所のBCP策定/見直しの実施

本講座の進め方

本講座の内容

本講座の進め方

1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント
～業務継続計画（BCP）策定取組～
2. 介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）とは
3. 自然災害BCPとは
4. 自然災害BCP策定のポイント

まとめ

* 本資料は厚生労働省老健局から公表された、
「介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続ガイドライン」（令和2年12月）
の内容を基に作成したものです。

本講座の進め方

時間	項目	内容
13:00	オリエンテーション	講師自己紹介等
13:05	進め方の説明 序論	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義 本講座の進め方 <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント 2. 介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）とは 3. 自然災害BCPとは
13:40	I 総論	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義 1. 基本方針 2. 推進体制 3. リスクの把握 4. 優先業務の選定 5. 研修・訓練 6. BCPの検証・見直し
14:00		休憩
14:10	II 自施設での対応 1. 平常時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義 (1) 建物・設備の安全対策 ● 演習① (2) 電気が止まった場合の対策 (3) ガスが止まった場合の対策 (4) 水道が止まった場合の対策 ● 演習② (5) 通信が麻痺した場合の対策 (6) システムが停止した場合の対策 ■ 講義 (7) 衛生面の対策 (8) 必要品の備蓄 (9) 資金手当て
15:00		休憩
15:10	II 自施設での対応 2. 緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義 (1) BCP発動基準 (2) 行動基準 (3) 対応体制 (4) 対応拠点 ● 演習③ (5) 安否確認 (6) 職員の参集基準 ● 演習④ (7) 施設内外での避難場所・避難方法 ■ 講義 (8) 重要業務の継続 (9) 職員の管理 (10) 復旧対応
16:10		休憩
16:20	III 他施設との連携 IV 地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義 他施設・他法人との連携状況／福祉避難所や他の地域貢献の取組
16:45	質疑応答	全体を通じた質疑応答、オンライン相談会の案内、アンケート記入
17:00	終了	まとめ

※ 上記はあくまでも予定ですので、進行状況により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

本講座の進め方

本研修の進め方

【講義】+【演習（グループワーク）】

□【講義】

- テキストに沿って、講師が各項目を解説します。

□【演習】

- 講義の途中で重要な項目について、実際にBCPの内容を検討してください。
- 各演習において、グループで意見交換をしてください。
- 演習後、1～2組のグループに発表していただきます。

本講座の進め方

テキストの使い方

・第1章 総論

・1. 基本方針

【入所者・利用者の安全確保】
 入所者は高齢化リスクが高く、災害発生時に深刻な被害が生じるおそれがあることに留意して安全の確保に努める。
 ◎サービスの提供：
 入所者・利用者の生命、身体の安全、健康を守るために最低限必要となる機能を維持する。
 ◎高齢者の安全確保
 ◎高齢者の生命と行動、生活の権利に留意する。

出典：厚生労働省「自然災害発生時における脆弱施設計画（04年版）」

全体像

自然災害（地震・火災等）BCPのフローチャート

1. 基本方針	2. 緊急時の対応	3. 緊急時の対応
(1) BCP管理組織	(1) 緊急時の対応	(1) 緊急時の対応
(2) 組織体制	(2) 緊急時の対応	(2) 緊急時の対応
(3) 緊急時の対応	(3) 緊急時の対応	(3) 緊急時の対応
(4) 緊急時の対応	(4) 緊急時の対応	(4) 緊急時の対応
(5) 緊急時の対応	(5) 緊急時の対応	(5) 緊急時の対応
(6) 緊急時の対応	(6) 緊急時の対応	(6) 緊急時の対応
(7) 緊急時の対応	(7) 緊急時の対応	(7) 緊急時の対応
(8) 緊急時の対応	(8) 緊急時の対応	(8) 緊急時の対応
(9) 緊急時の対応	(9) 緊急時の対応	(9) 緊急時の対応
(10) 緊急時の対応	(10) 緊急時の対応	(10) 緊急時の対応
(11) 緊急時の対応	(11) 緊急時の対応	(11) 緊急時の対応
(12) 緊急時の対応	(12) 緊急時の対応	(12) 緊急時の対応
(13) 緊急時の対応	(13) 緊急時の対応	(13) 緊急時の対応
(14) 緊急時の対応	(14) 緊急時の対応	(14) 緊急時の対応
(15) 緊急時の対応	(15) 緊急時の対応	(15) 緊急時の対応
(16) 緊急時の対応	(16) 緊急時の対応	(16) 緊急時の対応
(17) 緊急時の対応	(17) 緊急時の対応	(17) 緊急時の対応
(18) 緊急時の対応	(18) 緊急時の対応	(18) 緊急時の対応
(19) 緊急時の対応	(19) 緊急時の対応	(19) 緊急時の対応
(20) 緊急時の対応	(20) 緊急時の対応	(20) 緊急時の対応
(21) 緊急時の対応	(21) 緊急時の対応	(21) 緊急時の対応
(22) 緊急時の対応	(22) 緊急時の対応	(22) 緊急時の対応
(23) 緊急時の対応	(23) 緊急時の対応	(23) 緊急時の対応
(24) 緊急時の対応	(24) 緊急時の対応	(24) 緊急時の対応
(25) 緊急時の対応	(25) 緊急時の対応	(25) 緊急時の対応
(26) 緊急時の対応	(26) 緊急時の対応	(26) 緊急時の対応
(27) 緊急時の対応	(27) 緊急時の対応	(27) 緊急時の対応
(28) 緊急時の対応	(28) 緊急時の対応	(28) 緊急時の対応
(29) 緊急時の対応	(29) 緊急時の対応	(29) 緊急時の対応
(30) 緊急時の対応	(30) 緊急時の対応	(30) 緊急時の対応
(31) 緊急時の対応	(31) 緊急時の対応	(31) 緊急時の対応
(32) 緊急時の対応	(32) 緊急時の対応	(32) 緊急時の対応
(33) 緊急時の対応	(33) 緊急時の対応	(33) 緊急時の対応
(34) 緊急時の対応	(34) 緊急時の対応	(34) 緊急時の対応
(35) 緊急時の対応	(35) 緊急時の対応	(35) 緊急時の対応
(36) 緊急時の対応	(36) 緊急時の対応	(36) 緊急時の対応
(37) 緊急時の対応	(37) 緊急時の対応	(37) 緊急時の対応
(38) 緊急時の対応	(38) 緊急時の対応	(38) 緊急時の対応
(39) 緊急時の対応	(39) 緊急時の対応	(39) 緊急時の対応
(40) 緊急時の対応	(40) 緊急時の対応	(40) 緊急時の対応
(41) 緊急時の対応	(41) 緊急時の対応	(41) 緊急時の対応
(42) 緊急時の対応	(42) 緊急時の対応	(42) 緊急時の対応
(43) 緊急時の対応	(43) 緊急時の対応	(43) 緊急時の対応
(44) 緊急時の対応	(44) 緊急時の対応	(44) 緊急時の対応
(45) 緊急時の対応	(45) 緊急時の対応	(45) 緊急時の対応
(46) 緊急時の対応	(46) 緊急時の対応	(46) 緊急時の対応
(47) 緊急時の対応	(47) 緊急時の対応	(47) 緊急時の対応
(48) 緊急時の対応	(48) 緊急時の対応	(48) 緊急時の対応
(49) 緊急時の対応	(49) 緊急時の対応	(49) 緊急時の対応
(50) 緊急時の対応	(50) 緊急時の対応	(50) 緊急時の対応
(51) 緊急時の対応	(51) 緊急時の対応	(51) 緊急時の対応
(52) 緊急時の対応	(52) 緊急時の対応	(52) 緊急時の対応
(53) 緊急時の対応	(53) 緊急時の対応	(53) 緊急時の対応
(54) 緊急時の対応	(54) 緊急時の対応	(54) 緊急時の対応
(55) 緊急時の対応	(55) 緊急時の対応	(55) 緊急時の対応
(56) 緊急時の対応	(56) 緊急時の対応	(56) 緊急時の対応
(57) 緊急時の対応	(57) 緊急時の対応	(57) 緊急時の対応
(58) 緊急時の対応	(58) 緊急時の対応	(58) 緊急時の対応
(59) 緊急時の対応	(59) 緊急時の対応	(59) 緊急時の対応
(60) 緊急時の対応	(60) 緊急時の対応	(60) 緊急時の対応
(61) 緊急時の対応	(61) 緊急時の対応	(61) 緊急時の対応
(62) 緊急時の対応	(62) 緊急時の対応	(62) 緊急時の対応
(63) 緊急時の対応	(63) 緊急時の対応	(63) 緊急時の対応
(64) 緊急時の対応	(64) 緊急時の対応	(64) 緊急時の対応
(65) 緊急時の対応	(65) 緊急時の対応	(65) 緊急時の対応
(66) 緊急時の対応	(66) 緊急時の対応	(66) 緊急時の対応
(67) 緊急時の対応	(67) 緊急時の対応	(67) 緊急時の対応
(68) 緊急時の対応	(68) 緊急時の対応	(68) 緊急時の対応
(69) 緊急時の対応	(69) 緊急時の対応	(69) 緊急時の対応
(70) 緊急時の対応	(70) 緊急時の対応	(70) 緊急時の対応
(71) 緊急時の対応	(71) 緊急時の対応	(71) 緊急時の対応
(72) 緊急時の対応	(72) 緊急時の対応	(72) 緊急時の対応
(73) 緊急時の対応	(73) 緊急時の対応	(73) 緊急時の対応
(74) 緊急時の対応	(74) 緊急時の対応	(74) 緊急時の対応
(75) 緊急時の対応	(75) 緊急時の対応	(75) 緊急時の対応
(76) 緊急時の対応	(76) 緊急時の対応	(76) 緊急時の対応
(77) 緊急時の対応	(77) 緊急時の対応	(77) 緊急時の対応
(78) 緊急時の対応	(78) 緊急時の対応	(78) 緊急時の対応
(79) 緊急時の対応	(79) 緊急時の対応	(79) 緊急時の対応
(80) 緊急時の対応	(80) 緊急時の対応	(80) 緊急時の対応
(81) 緊急時の対応	(81) 緊急時の対応	(81) 緊急時の対応
(82) 緊急時の対応	(82) 緊急時の対応	(82) 緊急時の対応
(83) 緊急時の対応	(83) 緊急時の対応	(83) 緊急時の対応
(84) 緊急時の対応	(84) 緊急時の対応	(84) 緊急時の対応
(85) 緊急時の対応	(85) 緊急時の対応	(85) 緊急時の対応
(86) 緊急時の対応	(86) 緊急時の対応	(86) 緊急時の対応
(87) 緊急時の対応	(87) 緊急時の対応	(87) 緊急時の対応
(88) 緊急時の対応	(88) 緊急時の対応	(88) 緊急時の対応
(89) 緊急時の対応	(89) 緊急時の対応	(89) 緊急時の対応
(90) 緊急時の対応	(90) 緊急時の対応	(90) 緊急時の対応
(91) 緊急時の対応	(91) 緊急時の対応	(91) 緊急時の対応
(92) 緊急時の対応	(92) 緊急時の対応	(92) 緊急時の対応
(93) 緊急時の対応	(93) 緊急時の対応	(93) 緊急時の対応
(94) 緊急時の対応	(94) 緊急時の対応	(94) 緊急時の対応
(95) 緊急時の対応	(95) 緊急時の対応	(95) 緊急時の対応
(96) 緊急時の対応	(96) 緊急時の対応	(96) 緊急時の対応
(97) 緊急時の対応	(97) 緊急時の対応	(97) 緊急時の対応
(98) 緊急時の対応	(98) 緊急時の対応	(98) 緊急時の対応
(99) 緊急時の対応	(99) 緊急時の対応	(99) 緊急時の対応
(100) 緊急時の対応	(100) 緊急時の対応	(100) 緊急時の対応

出典：厚生労働省「介護施設・事業所における自然災害発生時の緊急対応計画ガイドライン」

見開き左
・記載例

見開き右
・検討事項
・BCP記載事項
等

・第1章 総論

・1. 基本方針

施設・事業所以外の災害対策に関する基本方針を記載しよう。
基本方針は優先する事業の選定や地域貢献、その他さまざまな項目を検討する際の原因になるため、何のためにBCP作成に取り組むのか、目的を明確にし、記載しよう。
災害にあって関係者施設等が果たす役割等を踏まえて記載しよう。
法人の方針・社是、経営理念と連動したものを検討しよう。
法人本部の基本方針と同じであれば、そのうちあわせて記載しよう。

全体像

1. 総論、2. 平常時の対応、3. 緊急時の対応、4. 他施設との連携、5. 地域との連携の順に検討しよう。

1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント ～業務継続計画（BCP）策定取組～

1

令和3年度施設運営基準改正のポイント～BCP策定取組～

BCP策定取組に求められる3つの項目

1. 策定

2. 研修

3. 訓練



施設運営基準改正

令和3年度施設運営基準の改正において、**全ての介護サービス事業者**にBCPの策定および研修・訓練の実施が義務化されました。令和6年3月31日までは努力義務ですが、それまでにBCPを策定し、研修や訓練を行なっていくことが必要となります。

1

令和3年度施設運営基準改正のポイント～BCP策定取組～

1. 策定

BCPの策定の目的

自然災害や感染症が発生した際にも、適切な対応を行い、

①利用者へのサービス提供を継続的に実施するため、

②非常時の体制で早期の業務再開を図るため、

必要なサービスを継続的に提供できる体制を構築しておくこと

BCPの種類

災害

感染症

1

令和3年度施設運営基準改正のポイント～BCP策定取組～

2. 研修

BCP研修の目的

自然災害および感染症に係るBCPの具体的な内容を職員間に共有すること

- ① 平常時の対応 ⇒ 対応の必要性の理解の励行
- ② 緊急時の対応 ⇒ 対応に係る理解の励行

実施回数

年2回以上

職員の入職時研修

※在宅系は年1回以上

実施の記録

記録を残すことも必須

1

令和3年度施設運営基準改正のポイント～BCP策定取組～

3. 訓練（シミュレーション）

訓練の目的

自然災害および感染症が発生した場合において、**迅速かつ適切に行動**できるように

- ① 施設内の役割分担の確認
- ② 実践するケアの演習 など をおこなうこと

実施回数

年2回以上

※在宅系は年1回以上

実施手法

机上訓練

実動訓練

机上 + 実動の組み合わせ

※実施手法は問わない。

2. 介護施設・事業所における業務継続計画（BCP） とは

2

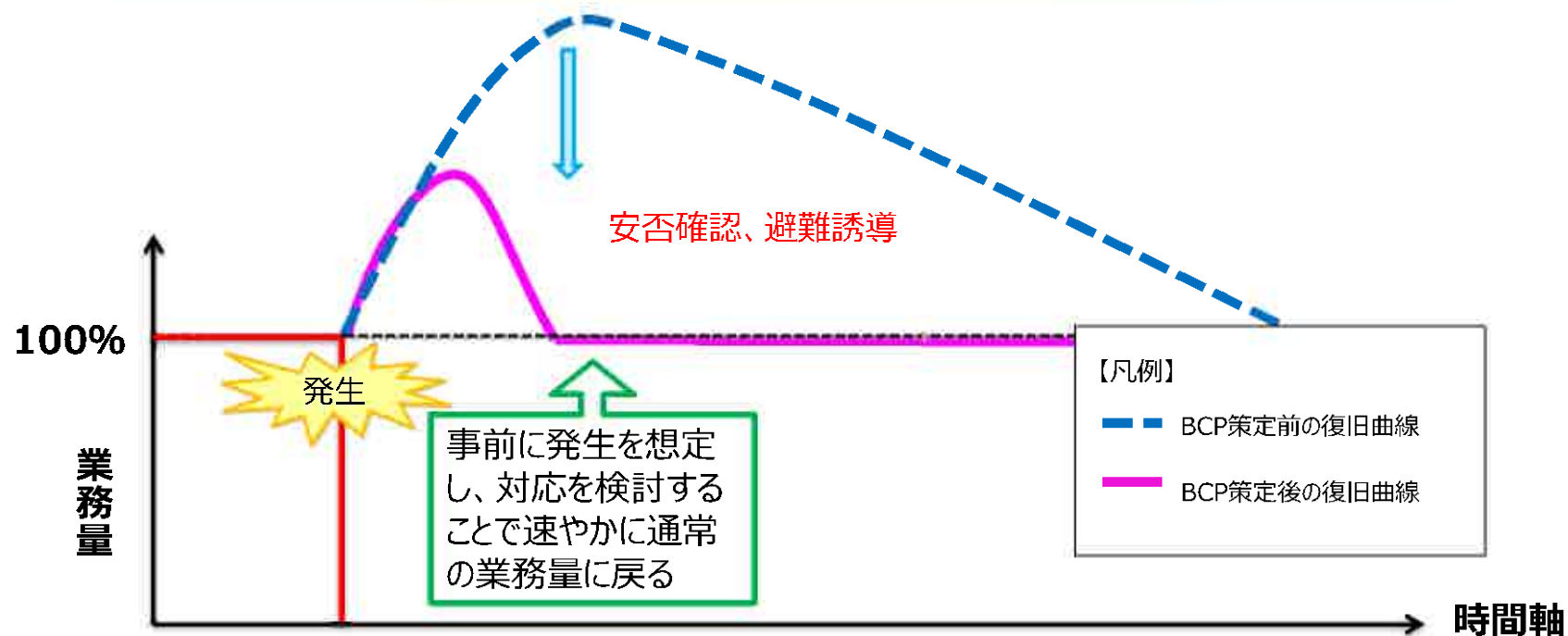
介護施設・事業所におけるBCPとは



2

介護施設・事業所におけるBCPとは

BCPの必要性～業務量～

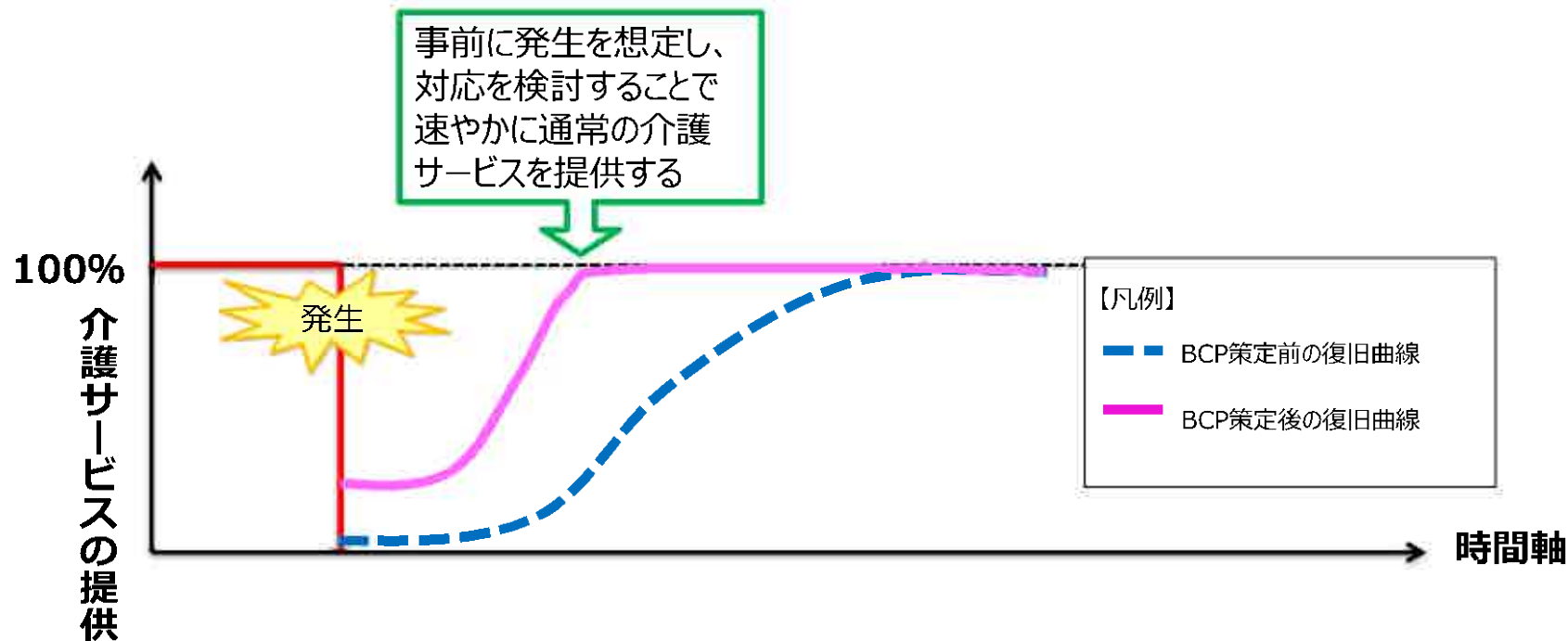


- ① 安否確認、避難誘導／感染対策、感染（疑い）者、濃厚接触者等の対応等による通常業務以外の業務による業務量の増加
- ② 職員の不足、インフラ停止による作業の増加、業務量過多による職員への負担の増加等の悪循環

2

介護施設・事業所におけるBCPとは

BCPの必要性～介護サービスの提供～

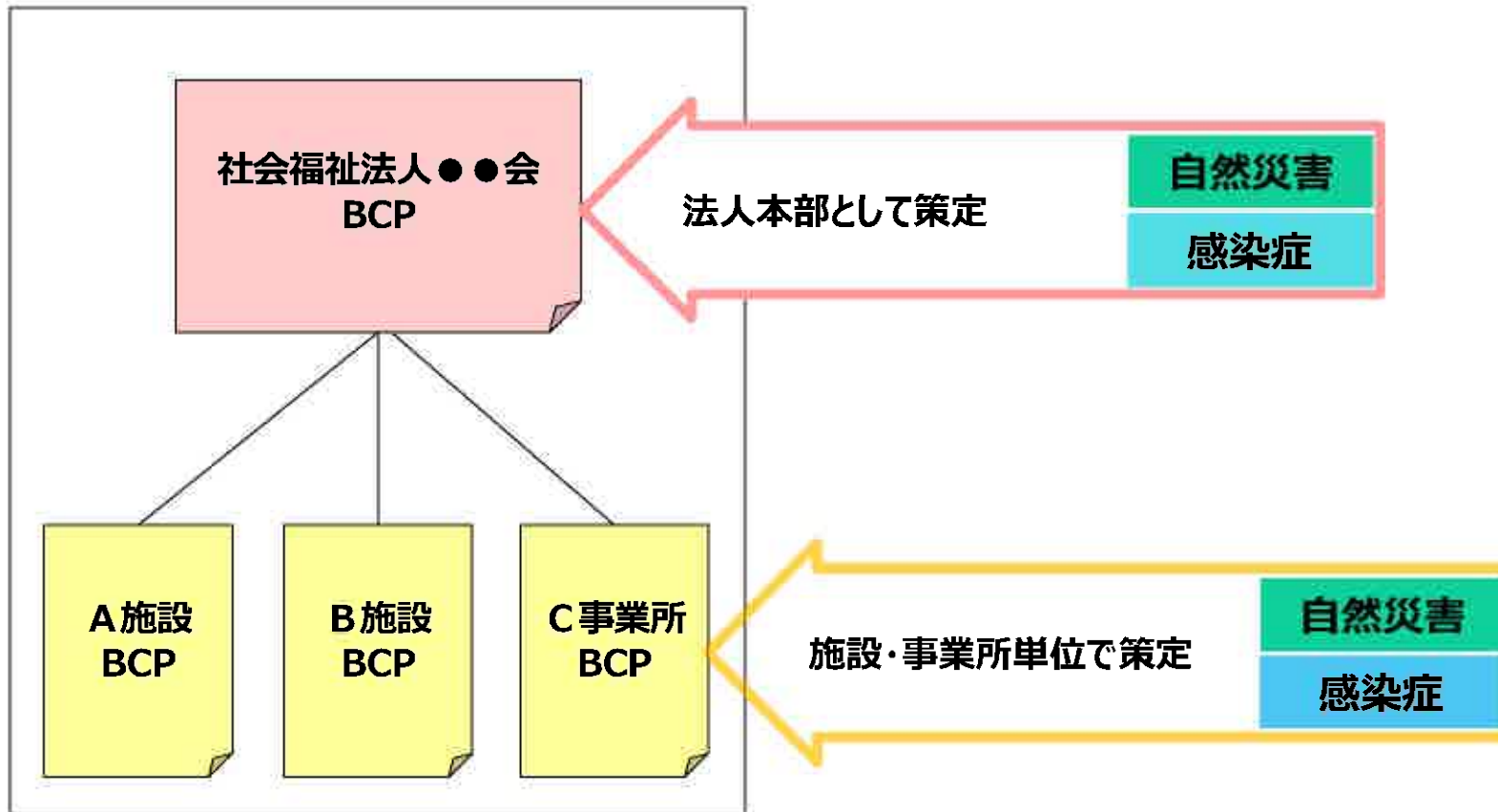


- ① 通常以外の業務（安否確認、避難誘導、連絡対応、感染対策、感染者対応等）による業務量増加のため、利用者への介護サービスが滞る
- ② 職員の不足により、利用者への介護サービスが滞る

2

介護施設・事業所におけるBCPとは

BCPの構成



2

介護施設・事業所におけるBCPとは

自然災害BCPと感染症BCPとの違い

	地震 (自然災害)	新型コロナウイルス感染症等 (感染症)
被害の期間	過去の事例等からある程度の影響を想定可能	長期化すると考えられるが、不確実性が高く影響予測が困難 → 時間的経過
事業継続の方針	できる限りの事業の継続・早期復旧を図る	感染リスク、社会的責任、経営面を勘案し、事業継続のレベルを決める → 正確な情報を基に的確に判断する
被害の対象	主として、施設・設備等、社会インフラへの被害が大きい	主として、[人]への健康被害が大きい → 業務継続は、主にヒトのやりくりの問題
地理的な影響範囲	被害が地域的・局地的（代替施設での操業や取引事業者間の補完が可能）	被害が国内全域、全世界的となる（代替施設での操業や取引事業者間の補完が不確実）
災害発生と被害制御	主に兆候がなく突発する 被害規模は事後の制御不可能	海外で発生した場合、国内発生までの間、準備が可能 被害規模は感染対策により左右される → 感染防止策が重要

出典：厚労省 介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン

3. 自然災害BCPとは

3

自然災害BCPとは

リスクマネジメントとBCPの関係

リスクマネジメントとは…

リスクを組織的に管理し、（中略）企業が経営を行っていく上で障壁となるリスク及びそのリスクが及ぼす影響を正確に把握し、事前に対策を講じることで危機発生を回避するとともに、危機発生時の損失を極小化するための経営管理手法。

出典：中小企業庁 2016年中小企業白書より抜粋

1. 事前準備

自然災害発生前

or

施設・事業所等で感染者発生前

今、何をしておくべきか



2. 発生後の対応

自然災害発生後

or

施設・事業所等で感染疑い者発生後

どう行動したらよいか



BCP（最悪の事態に備えた業務継続計画）

3

自然災害BCPとは

もし、地震が発生したら・・・？

影響の例：ライフラインの停止

電気 ×

- 夜だと暗くて何も見えない
- 機器類が止まってケアができない
- 空調が止まって寒い（暑い）
- エレベーターが使えない など

ガス ×

- 食事が作れない
- 入浴できない など

上下水道 ×

- トイレが使えない
- 入浴できない
- 食事が作れない
- 洗濯できない など

通信 ×

- 医療機関へ連絡できない
- 行政へ連絡できない
- 家族へ連絡できない など

事前準備がされていなければ

- …備蓄が不足し食料がすぐに底をつく
- …代替施設が決まらず屋外で過ごす
- …不衛生な状態が続く など



サービスを停止できない！！
(サービス継続を期待されている)

発災時の対応が 検討されていないければ

- …命や生活を守ることができない
- …安全な避難ができない
- …職員を速やかに招集できない
- …関係機関との連携ができない など

3

自然災害BCPとは

サービスを継続する = 中断させない

①

サービスを提供するために
必要な**資源を守る**こと

職員

建物・設備・備品

ライフライン

②

必要な資源が欠けたり、不足して
サービスが中断した場合、
その足りない**資源を補って**
サービスを復旧させること

職員の参集・応援職員の確保

建物・設備・備品の修繕・確保

ライフラインの補完・代替

③

資源の不足を想定して、**優先する業務**を選定し準備する

3

自然災害BCPとは

防災計画と自然災害BCPの関係①

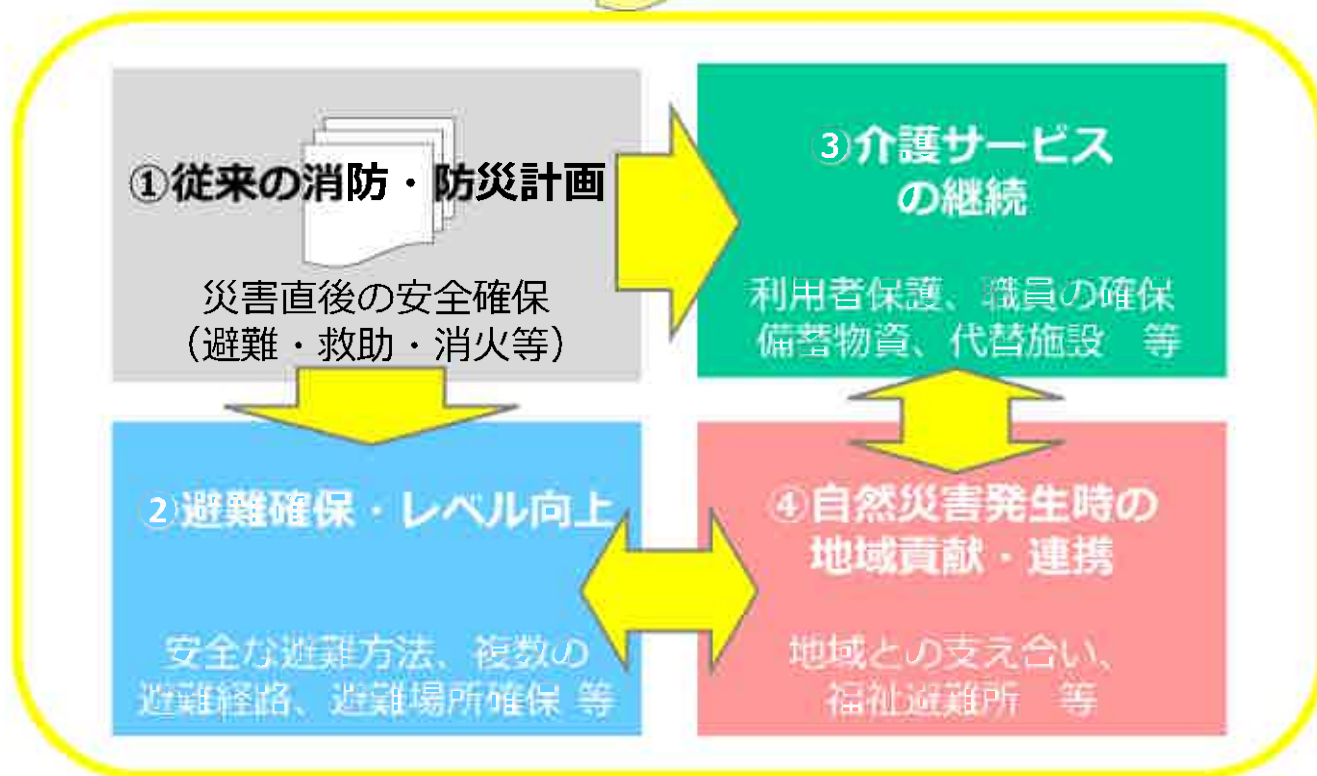
	防災計画	BCP
主な目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体、生命の安全確保 ・ 物的被害の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体、生命の安全確保に加え、優先的に継続、復旧すべき重要業務の継続または早期復旧
考慮すべき事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点がある地域で発生することが想定される災害 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社の事業中断の原因となり得るあらゆる発生事象
重要視される事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下を最小限にすること <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「死傷者数」 ➢ 「損害額」 ・ 従業員等の安否を確認し、被害者を救助・支援すること ・ 被害を受けた拠点を早期復旧すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記に加え、以下を含む <ul style="list-style-type: none"> ➢ 重要業務の目標復旧期間・目標復旧レベルを達成すること ➢ 経営及び利害関係者への影響を許容範囲内に抑えること ➢ 利益を確保し企業として生き残ること
活動、対策の検討範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社の拠点ごと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全社的（拠点横断的） ・ 依存関係にある主体（委託先、調達先、供給先）

3

自然災害BCPとは

防災計画と自然災害BCPの関係②

自然災害BCP



出典：（一社）福祉防災コミュニティ協会作成を一部修正

3

自然災害BCPとは

自然災害（地震・水害等）BCPフローチャート



4. 自然災害BCP策定のポイント

4 自然災害BCP策定のポイント

ここからは、テキストを使用します。

第I章 総論

1. 基本方針
2. 推進体制
3. リスクの把握
4. 優先業業務の選定
5. 研修・訓練
6. BCPの検証・見直し

3

自然災害BCP策定のポイント

自然災害（地震・水害等）BCPフローチャート



4 自然災害BCP策定のポイント

第 I 章 総論

テキスト6ページ

1. 基本方針

ポイント！

- 災害において施設・事業所が果たすべき役割を鑑みて検討しましょう。
- 何のためにBCP策定に取り組むのか、その目的を検討して記載しましょう。

2. 推進体制

ポイント！

- 担当者名／部署名欄には具体的な名前や名称を記載しましょう。
- 複数の代行者を立て、その優先順位を含めて決定しましょう。
- 自施設特有の役割について検討し、担当を決めましょう。

4 自然災害BCP策定のポイント

第I章 総論

テキスト10ページ

3. リスクの把握

(1) ハザードマップなどの確認

(2) 被害想定

	当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
電力	自家発電機→			復旧	→	→	→	→	→
エレベーター	停止→			復旧	→	→	→	→	→
飲料水	備蓄分→							給水車	→
生活用水	貯水槽分→			井戸水	→	→	→	→	→
ガス	復旧	→	→	→	→	→	→	→	→
携帯電話	停止→			復旧	→	→	→	→	→
メール	停止→			復旧	→	→	→	→	→
道路	通行止め→		部分復旧→						

出典：首都直下地震等による東京の被害想定（令和4年5月25日公表）より MS&ADインターリスク壮健にて作成

ポイント！

- 最新の地域防災計画の被害想定を確認するようにしましょう。
- 複合災害対策として感染症流行下における対策も検討しておきましょう。

4 自然災害BCP策定のポイント

第 I 章 総論

テキスト 16 ページ

- 4. 優先業務の選定
 - (1) 優先する事業
 - (2) 優先する業務

優先業務	必要な職員数[人]			
	朝	昼	夕	夜間
与薬介助	0.2	0.2	0.2	0
排泄介助	0.5	0.5	0.5	0.5
食事準備・介助	1.5	1.5	1.5	0
見守り	0.8	0.8	0.8	0.5
合計(名)	3.0	3.0	3.0	1.0

ポイント!

- 複数の事業を運営する施設・事業所では、どの事業を優先するのかを法人本部とも連携する必要があります。
- 優先業務の洗い出しとともに、最低限必要な人数についても検討しましょう。

4 自然災害BCP策定のポイント

第 I 章 総論

テキスト 1 8 ページ

5. 研修・訓練

- 業務継続計画（BCP）を関係者で共有
- 業務継続計画（BCP）の内容に関する研修
- 業務継続計画（BCP）の内容に沿った訓練（シミュレーション）

ポイント！

- 対象、時期、目的、内容を明確に年間計画を立てましょう。
- 内容に偏りがなく、満遍なく実施しましょう。

4 自然災害BCP策定のポイント

第 I 章 総論

テキスト 1 8 ページ

5. 研修・訓練

□ 訓練

	机上訓練	実動訓練
手法 (例)	<ul style="list-style-type: none">・ 口頭や文書により机上で進行する訓練・ BCPが策定できた段階で、災害状況を想定して机上で対応する形式の訓練・ シナリオに沿って、情報共有や意思決定等ができるかを検討	<ul style="list-style-type: none">・ 避難等、実際に人や物を動かして実施する訓練・ 現場において実際に練習を行い技術の習得・習熟を図る
目的	<ul style="list-style-type: none">・ 策定したBCPの確認及び改善・ BCPの手順の理解・ 災害への意識の醸成	<ul style="list-style-type: none">・ 現場の状況や実際かかる時間等、机上訓練では見えない課題の明確化・ 現場での対応方法の習得・習熟
内容と 方法 (例)	<ul style="list-style-type: none">・ 利用者、職員の安全確保・安否確認・ 時系列での役割分担の確認・ 計画の手順や優先順位の確認・ 具体的な場面設定や被害想定の下、計画の実施可否の検討 等	<ul style="list-style-type: none">・ 災害対策本部の立ち上げ・ 建物・設備の被害点検・ 避難訓練・ 緊急連絡網・通報訓練・ 総合訓練 (発生場面を設定した一連の対応訓練)

4 自然災害BCP策定のポイント

第 I 章 総論

テキスト 1 8 ページ

5. 研修・訓練

□ 訓練 机上訓練の例

状況
<p><u>“地震発生後において、各業務の具体的な継続方法をシミュレーションしましょう”</u></p> <p>●月●日(▲)の■■:■■</p> <p>□震度：最大震度7（複数の市区町村）、施設が所在する市区町村の震度：6弱</p> <p>□ライフライン</p> <p>◆電力：停電 ◆上水道：断水 ◆下水道：使用不可 ◆都市ガス：供給停止</p> <p>◆電話：キャリアによる通信制限により非常につながりにくい状態（SNSによる通信は可能）</p> <p>◆鉄道：運転を見合わせ</p>
検討事項
<p><u>下記について業務継続（実施）方法を検討してください。</u></p> <p><u>平時と異なる点を意識しながら、「どのように」という手順をできるだけ具体的に考えましょう。</u></p> <p>①食事</p> <p>②非番職員の安否確認</p>

4 自然災害BCP策定のポイント

第 I 章 総論

テキスト 20 ページ

6. BCPの検証・見直し

□ 最新の動向や訓練等で洗い出された課題をBCPに反映

<更新履歴>

更新日	更新内容	更新者
〇年〇月〇日	●●作成・追加	

ポイント！

- 見直し担当者、時期を明記しましょう。
- 更新履歴を残しましょう。

第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

- (1) 建物・設備の安全対策
- (2) 電気が止まった場合の対策
- (3) ガスが止まった場合の対策
- (4) 水道が止まった場合の対策
- (5) 通信が麻痺した場合の対策
- (6) システムが停止した場合の対策
- (7) 衛生面（トイレ等）の対策
- (8) 必需品の備蓄
- (9) 資金手当て

4 自然災害BCP策定のポイント

自然災害（地震・水害等）BCPフローチャート

1. 総論
(1)基本方針
(2)推進体制
(3)リスクの把握
①ハザードマップなどの確認
②被災想定
(4)優先業務の選定
①優先する事業
②優先する業務
(5)研修・訓練の実施
BCPの検証・見直し
①研修・訓練の実施
②BCPの検証・見直し

2. 平常時の対応
(1)建物・設備の安全対策
①人が常駐する場所の耐震措置
②設備の耐震措置
③水害対策
(2)電気が止まった場合の対策
①自家発電機が設置されていない場合
②自家発電機が設置されている場合
(3)ガスが止まった場合の対策
(4)水道が止まった場合の対策
①飲料水
②生活用水
(5)通信が麻痺した場合の対策
(6)システムが停止した場合の対策
(7)衛生面(トイレ等)の対策
①トイレ対策
②汚物対策
(8)必要品の備品
①在庫量、必要量の確認
(9)備金手当て

3. 緊急時の対応
(1)BCP発動基準
(2)行動基準
(3)対応体制
(4)対応拠点
(5)安否確認
①利用者の安否確認
②職員の安否確認
(6)職員の参集基準
(7)施設内外での避難場所・避難方法
(8)重要業務の継続
(9)職員の管理
①休憩・宿泊場所
②勤務シフト
(10)復旧対応
①破損個所の確認
②業者連絡先一覧の整備
③情報発信
【通所サービス固有事項】
【訪問サービス固有事項】
【居宅介護支援サービス固有事項】

4. 他施設との連携
(1)連携体制の構築
①連携先との協議
②連携協定書の締結
③地域のネットワーク等の構築・参画
(2)連携対応
①事前準備
②入所者・利用者情報の整理
③共同訓練

5. 地域との連携
(1)被災時の職員派遣
(2)福祉避難所の運営
①福祉避難所の指定
②福祉避難所開設の事前準備

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

テキスト2 2ページ

1. 建物・設備の安全対策

- 人が常駐する場所の耐震措置
- 設備の耐震措置
- 水害対策

ポイント！

- 新耐震基準が制定された1981年（昭和56年）以前の建物は要注意！
- 耐震措置のみならず、浸水対策も合わせて検討すること。

4

自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

テキスト2 6ページ

2. 電気が止まった場合の対策
3. ガスが止まった場合の対策
4. 水道が止まった場合の対策

【演習①】

テキスト2 6ページ

□ ライフラインが止まった場合の対策について

- ・自施設でどのような対策を実施していますか？
- ・自施設ではどんな対策が必要ですか？
- ・「工夫している点」「苦労した点」「今後取り入れたい対策」等

※自家発電の設置の有無の情報共有をお願いします。

設置している場合にはメリット、デメリットの情報共有もお願い致します。

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

テキスト2 6ページ

2. 電気が止まった場合の対策

稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
医療機器： 喀痰吸引、人工呼吸器など	自家発電機：400Kw x 8 時間使用可能。 燃料は●●。ガソリンスタンド●●と優先供給協定を締結する。	医療機器等の予備バッテリーを準備
情報機器： パソコン、テレビ、インターネットなど		
冷蔵庫・冷凍庫 夏場は暑さ対策として保冷剤等を用意	・電気なしでも使える代替品(乾電池や手動で稼働するもの)の準備や業務の方策を検討する。	
照明器具、冷暖房器具	乾電池：単一●本、単二●本、 単三●本、単四●本	
その他、代替の電源を考える	自動車のバッテリーや電気自動車の電源を活用することも有用である。	
	太陽光パネルの設置	

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

テキスト28ページ

3. ガスが止まった場合の対策

稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
暖房機器	湯たんぼ、毛布、使い捨てカイロ、灯油ストーブ	暖房器具とその燃料を準備
調理器具	カセットコンロ、ホットプレート	火力が弱いので大量の調理には向かない
	L P ガスボンベ + 五徳コンロを備蓄する	ガス業者等からのレンタルの可否の確認
給湯設備	入浴は中止し、清拭	
その他、代替の熱源を考える	都市ガスをL P ガスに替える	

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

テキスト30ページ

4. 水道が止まった場合の対策

飲料水

稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
飲料	日に●リットルをペットボトルで取る	
食事		アルファ米の調理のために必要
口腔ケア	職員数に応じてサービス提供	

生活用水

稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
入浴	当面、休止し、清拭	
トイレ	簡易トイレ、仮設トイレを使用	バケツで流す場合 大14L×1回、小9L×3回 = 41L/日/人
清掃、消毒	日に●リットルを使用	

ポイント！

- 「飲料水」「生活用水」に分けて、それぞれ「確保策」「削減策」を記載しておきましょう。
- 一般成人が1日に必要とする飲料水は1.5～3.0L程度で7日分があると良いでしょう。

4

自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

テキスト3 2ページ

- 5. 通信が麻痺した場合の対策
- 6. システムが停止した場合の対策

【演習②】

テキスト3 2ページ

□ 通信の麻痺・システムの停止時の対策について

- ・自施設でどのような対策を実施していますか？
- ・自施設ではどんな対策が必要ですか？
- ・「工夫している点」「苦労した点」「今後取り入れたい対策」等

ポイント！

- SNSや安否確認システムを導入する等、連絡手段は時代と共に変化しています。
- 複数の連絡手段で関係機関と連絡が取れるように準備しておきましょう。
- BCP等の災害対策の文書類はデータでの保存だけでなく、すぐに使えるよう印刷してファイル等に綴じて保管しておきましょう。

□ 通信が麻痺した場合

- ・複数の連絡手段で関係機関と連絡が取れるようにしておく。
- ・整備した緊急連絡網はいざという時に活用できるよう、定期的にメンテナンスを行う。
※現在はSNS等によるグループへの一斉送信等での連絡をしているところもあり、その際のグループの整理等のメンテナンスも実施する。

□ システムが停止した場合

- ・必要な業務が継続できるよう、必要なデータは紙に印刷して保存する。
- ・パソコン・サーバ・重要書類などは、浸水の恐れのない場所に保管する。
- ・パソコン・サーバのデータは、定期的にバックアップをとる。

4

自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

テキスト3 6ページ

7. 衛生面（トイレ等）の対策

稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策
水洗トイレ	仮設トイレ
	簡易トイレ
	オムツ

ポイント！

- 電気・水道が止まった場合、速やかに簡易トイレを所定の箇所に設置し、そちらを使用するよう案内をする。
- 女性職員のために、生理用品などを備蓄しておく。
- 排泄物などはビニール袋などに入れて密閉し、利用者の出入りの無い空間へ、衛生面に留意して隔離・保管しておく。

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

テキスト3 8ページ

8. 必需品の備蓄

【ライフライン対応】

No.	区分	品目	備蓄量		必要量	過不足量	単位	保管場所	担当者	調達先	備考
			目安	備蓄量							
1	電気	発電機(LPガス)	1	1	1	0	台	屋外倉庫	施設長	-	1.5kVA
2		発電機燃料(LPガス)	50				Kg				LPガス50kg容器満タンで約74時間使用可能。
3		発電機オイル									メーカーに確認要
4		電源リール	1				台				10~30m
5		テーブルタップ	1				本				
6	ガス	LPガス									
7		五徳	1				台				
8		着火ライター	1				台				
9	水道	ポリタンク	10				個				20リットル/個
10	通信手段	ラジオ									
11		トランシーバー									施設内の通話用
12		携帯電話充電器									
13		モバイル・バッテリー									

ポイント！

- 備品は必ず一覧表にて整理しておき、備蓄内容や分量だけでなく、保管場所やメンテナンスについても留意する。

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

テキスト4 2ページ

9. 資金手当て

- 火災保険
- 地震保険
- 手元資金

ポイント！

- 火災保険については、水害について補償できるかの確認も必要です。
- 加入の保険で補償される範囲や内容を確認しておきましょう。
- 万一の場合に備えて、手元現金を準備しておくことが有効。

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

- (1) BCP発動基準
- (2) 行動基準
- (3) 対応体制
- (4) 対応拠点
- (5) 安否確認
- (6) 職員の参集基準
- (7) 施設内外での避難場所・避難方法
- (8) 重要業務の継続
- (9) 職員の管理
- (10) 復旧対応

4 自然災害BCP策定のポイント

自然災害（地震・水害等）BCPフローチャート

1. 総論	2. 平常時の対応	3. 緊急時の対応	4. 他施設との連携
(1)基本方針	(1)建物・設備の安全対策	(1)BCP発動基準	(1)連携体制の構築
(2)推進体制	①人が常駐する場所の耐震措置	(2)行動基準	①連携先との協議
(3)リスクの把握	②設備の耐震措置	(3)対応体制	②連携協定書の締結
①ハザードマップなどの確認	③水害対策	(4)対応拠点	③地域のネットワーク等の構築・参画
②被災想定	(2)電気が止まった場合の対策	(5)安否確認	(2)連携対応
(4)優先業務の選定	①自家発電機が設置されていない場合	①利用者の安否確認	①事前準備
①優先する事業	②自家発電機が設置されている場合	②職員の安否確認	②入所者・利用者情報の整理
②優先する業務	(3)ガスが止まった場合の対策	(6)職員の参集基準	③共同訓練
(5)研修・訓練の実施	(4)水道が止まった場合の対策	(7)施設内外での避難場所・避難方法	
BCPの検証・見直し	①飲料水	(8)重要業務の継続	
①研修・訓練の実施	②生活用水	(9)職員の管理	
②BCPの検証・見直し	(5)通信が麻痺した場合の対策	①休憩・宿泊場所	
	(6)システムが停止した場合の対策	②勤務シフト	
	(7)衛生面(トイレ等)の対策	(10)復旧対応	
	①トイレ対策	①破損個所の確認	
	②汚物対策	②業者連絡先一覧の整備	
	(8)必要品の備品	③情報発信	
	①在庫量、必要量の確認	【通所サービス固有事項】	
	(9)賃金手当て	【訪問サービス固有事項】	
		【居宅介護支援サービス固有事項】	
			5. 地域との連携
			(1)被災時の職員派遣
			(2)福祉避難所の運営
			①福祉避難所の指定
			②福祉避難所開設の事前準備

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト4 4ページ

1. BCP発動基準

(記載例)

□ 地震

● ●市周辺において、震度5強以上の地震が発生し、被災状況や社会的混乱などを総合的に勘案し、施設長が必要と判断した場合、施設長の指示によりBCPを発動し、対策本部を設置する。

□ 水害

- ・大雨警報（土砂災害）、洪水警報が発表されたとき。
- ・台風により高潮注意報が発表されたとき。

ポイント！

- 「誰が」「いつ」「どのような状況」でBCPを実施・発動するかを明確にしましょう。
- 施設長などの責任者が不在でも行動を起こせるように、代替者も決めておくこと。

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト4 6ページ

2. 行動基準

□ 発災時の行動指針について記載する。

- ①職員及び利用者の安全確保
- ②二次災害への対策（火災や建物の倒壊など）
- ③地域との連携、関係機関との連携
- ④情報発信

ポイント！

- 業務中（夜勤時等含む）に発災した場合はもちろん、業務時間外に発災した場合においても、各個人が判断して行動ができるよう行動指針を示しておく。

4

自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト4 6ページ

2. 行動基準

災害発生時の安全確保
家族との安全確認
避難するとき
非常持出品リスト
避難の記録
緊急連絡先

1 緊急地震速報だ！地震だ！まず身を守る！
 周囲の状況にあわせて、自分自身で身を守りましょう。

自宅にいる

- すぐに床を守る
- 家具などが倒れてこない場所に移動する
- 揺れがおさまったら火元を確認する

外出している

- 手荷物などを床を守る
- ガラスや看板などの落下物に注意する
- エレベーター・自動販売機などから降り、広場などに移動する

園・学校にいる

乗り物に乗っている

2 避難の安全を確認する！多くの手段を組み合わせ、連絡が取れる確率を高める！
 災害時にどのように連絡を取り合うのか、ふたつから話し合っておきましょう。

携帯電話災害用伝言板 NTT災害用伝言ダイヤル【171】

携帯サイトのトップページにアクセス
 災害用伝言板 検索

「災害用伝言板」を開く

伝言を登録する 伝言を確認する

070 にダイヤル

ガイダンスにしたがって利用する

1 自分の伝言を登録する 2 家族の伝言を確認する

携帯電話やパソコンのメールを利用する
 ・通話よりもつながりやすい。
公共電話を利用する
 ・災害時にも発信規制を受けない。
道路端に連絡中継先をつくる
 ・被災地から被災地外への電話は比較的かかりやすい。

3 避難を判断する目安
 危険を避けるために避難を判断するのは、あなた自身です。

世田谷区

周辺地域で地震が発生し、揺れの強けがあるとき
 土砂災害の恐れがあるとき
 建物が倒壊する恐れがあるとき
 区から避難勧告や避難指示が出たとき

避難の必要がある場合、区からは次のような方法で避難情報をお知らせします。

テレビラジオ(世田谷区(83.4MHz)95.1MHz)
 防災行政無線塔から
 世田谷区のホームページ・公式Twitterから
 災害-防災情報メール配信サービス 緊急避難メールから
 町会 自治会、防災区民組織から

4 非常持出品リスト
 定期的な点検を忘れずに。

非常持出品リスト
 避難時に持ち出せるように準備しておくもの。

- 食品(賞味に食べられるもの)
 飲料水 ヘルメット 懐中電灯
 携帯ラジオ 充電機 電池
 筆記用具 現金(現金) 貴重品(お守り手帳)
 薬品(絆創膏、消毒液、包帯等) 免許証
 マイナンバーカードのコピー
 貴重品(現金、お守り手帳) など

5 わたしの記録、家族の記録

氏名	住所	氏名	携帯電話	メールアドレス
住所	自宅電話	氏名	携帯電話	メールアドレス
氏名	自宅電話	氏名	携帯電話	メールアドレス
住所	自宅電話	氏名	携帯電話	メールアドレス
氏名	住所	氏名	携帯電話	メールアドレス
住所	自宅電話	氏名	携帯電話	メールアドレス
氏名	住所	氏名	携帯電話	メールアドレス
住所	自宅電話	氏名	携帯電話	メールアドレス

6 緊急連絡先
火事・救急119 事件・事故110

名称	電話番号
自治体	-
消防署	-
警察署	-
ガス	-
電気	-
水道	-
病院	-
	-
	-

出典：世田谷区ホームページ 防災カード（一部抜粋）

ポイント！
 ➤ 必要な事項を整理し、カード等に記載して携帯するのも良いでしょう。

4

自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト4 6ページ

2. 行動基準



- ・東京都防災ホームページには災害時に役立つ防災・災害情報をまとめた携帯カードを案内
- ・「東京都防災アプリ」を無料でダウンロードできるようにしている。
- ・「マイ・タイムライン」を策定して、災害時の行動を確認しておくのも良いでしょう。

出典：東京都防災ホームページ

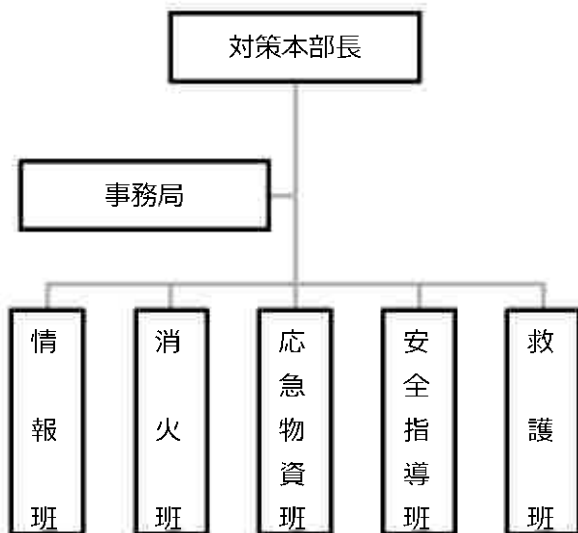
4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト48ページ

3. 対応体制

【指揮命令系統の表記例】



【権限・役割の表記例】

担当者名／部署名	対策本部における職務（権限・役割）	
①●● ②●▲	対策本部長	<ul style="list-style-type: none"> 本部の設置/解散判断 現場の統括指揮、各種意思決定
①▲▲ ②■▲	事務長	<ul style="list-style-type: none"> 対策本部長サポート 対策本部の運営実務の統括
①■ ②××	情報班	<ul style="list-style-type: none"> 行政と連絡をとり、正確な情報の入手に努める 適切な指示を仰ぎ、対策本部長に報告する 利用者家族へ利用者の状況を連絡する。記録。
①● ②▲	消火班	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生直後直ちに火元の点検、ガス漏れの確認 客室防止に万全を期し、客室の際には消火に努める
①▲■ ②●●●	応急物資班	<ul style="list-style-type: none"> 食料、飲料水など御確保に努める 炊き出しや飲料水の配布を行う

ポイント！

- あらかじめ役割を決めて周知し、担当職員が責任や役割を自覚できるよう、日頃から研修・訓練を通じて理解を促す。

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト50ページ

4. 対応拠点

- 緊急時対応体制の拠点となる候補場所を決めておく。

第1候補場所	第2候補場所	第3候補場所
1階第1会議室	2階研修室	1F食堂

ポイント！

- 安全かつ機能性の高い場所に設置しましょう！
- 水害や津波で浸水する恐れがある等、被害想定によっては、施設・事業所以外の場所の設置も検討しましょう。

4

自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト5 2ページ

5. 安否確認
6. 職員の参集基準

【演習③】

テキスト5 2ページ

□ 安否確認・職員の参集

- ・通信が麻痺した中で、どのように利用者・職員の安否確認をしますか？
- ・報告する事項にはどのような項目が必要ですか？
- ・職員が自動参集するルールはどんな内容が良いですか？
- ・参集しなくても良い基準も必要ですか？

ポイント！

- 複数の手段を準備しておくことを推奨します。（電話、携帯メール、SNS等）
- 定期的な訓練や日頃の業務で使用する等、習熟しておくことが重要です。

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト5 2ページ

□ 安否確認

(職員の安否確認シート例)

No	氏名	安否確認	自宅状況	家族の安否	出勤可否
1		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()
2		無事・負傷 不明・死亡	問題なし 半壊・全壊	無事・負傷/死亡 備考()	可能・不可能 備考()

□ 職員の参集基準

氏名	部署	役職	電話番号	携帯電話		備考
				電話番号	メールアドレス	
(例) ●●●●	総務	課長	03-XXXX-XXXX	090-XXXX-XXXX	XXXX@xxxxx	徒歩：●分、車：●分 ●●市●●地区

災害時の移動は原則「徒歩」であり、道路の陥没や橋梁の落下などにより、迂回ルートを取る必要性などから移動速度は「2.5 キロメートル毎時」が目安（平常時は4キロメートル毎時）。

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト58ページ

7. 施設内外での避難場所・避難方法

【演習④】

テキスト58ページ

□ 施設内外での避難場所・避難方法

- ・ 地震などで一時的に避難する場所の選定基準は？
- ・ 津波や水災の場合の垂直避難の方策は？
※垂直避難：浸水を避けるための上階への避難
- ・ 避難先でも最低限のケアを継続するための備蓄品の持ち出しについて

ポイント！

- 勤務者の少ない祝祭日や夜間、あるいは荒天などを想定して検討しましょう。
- 施設外に避難する場合、薬の持ち出しを忘れないように検討しましょう。

4

自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト58ページ

□ 施設内での避難場所・避難方法

- ・避難ルートは暗闇の中でも誘導できるか、転倒して通路を塞ぐものがないかを確認する。
- ・津波や水害の場合、他所へ避難する「水平避難」よりも、建物内の高所へ避難する「垂直避難」の方が安全性が高いこともある。
- ・垂直避難を検討する場合、エレベーターが使用できないこともあることを想定する

	第1避難場所	第2避難場所
避難場所	3階 多目的ホール	2階 談話室、廊下
避難方法	自力で避難できない利用者は布製担架もしくはおんぶ紐を使用する。	同左

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト5 8 ページ

□ 施設外での避難場所・避難方法

気象状況	気象庁等の情報		市町村の対応		住民がとるべき行動	警戒レベル
	大気	海	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！		
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	高潮特別警報	緊急安全確保 ※必ず安全な場所へ避難する。	緊急安全確保 ※必ず安全な場所へ避難する。	命の危険 直ちに安全確保！ ※必ず安全な場所へ避難する。他の災害の可能性も考慮し、命の危険な状況発生時は直ちに避難する。	5
<警戒レベル4までに必ず避難！>						
大雨の数時間～2時間程度前	土砂災害警戒情報	高潮特別警報	危険	避難危険情報	危険な場所から全員の避難 ・避難指示が発表された場合は、避難が可能な状況に避難すること。	4
	大雨警報 洪水警報	大雨警報 高潮特別警報 注意報	警戒	避難警戒情報	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等は本人も避難指示が発表された場合は、避難が可能な状況に避難すること。避難の準備が完了し、自主的に避難する。	3
大雨の半日～数時間前	大雨注意報 洪水注意報	高潮注意報	注意	避難注意情報	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
	早期注意情報 (避難が可能な状況)			第1次防災体制 (連絡要員を配置)	災害への心構えを言ひる	1

**警戒レベル3
高齢者等避難**

※ 夜間～朝日昇りまで大雨警報・土砂災害警戒情報・高潮特別警報・注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成

出典：気象庁 段階的に発表される防災気象情報と対応する行動

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト60ページ

8. 重要業務の継続

重要業務	
継続業務	<ul style="list-style-type: none">・ 食事の提供と介助・ 排泄の介助・ 服薬管理（提供と服薬介助）・ 医療的ケア（生命維持に直結する）
追加業務	<ul style="list-style-type: none">・ 安全確保・避難誘導・ 利用者・家族への連絡・情報提供・ 施設・事業所内のついたて等の設置、レイアウトの変更・ 物資の調達・確保

ポイント！

- 職員や物資の確保を優先するが、やむを得ず確保できない場合は、職員や物資の状況に応じて対応できるよう、業務の優先順位を整理しておく。
- 通常実施している業務を「継続業務」「変更・縮小業務」「休止業務」に分け、災害に伴い必要となる新たな業務は「追加業務」に分類。

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト6 2ページ

9. 職員の管理

□ 休憩・宿泊場所

休憩場所	宿泊場所
1階 会議室	別棟 集会所（10人分）
食堂 東端のスペース	2階 談話室（4人分）

□ 勤務シフト

- ・震災発生後、職員が長期帰宅できず、長時間勤務となる可能性もある。参集した職員の人数により、なるべく職員の体調および負担の軽減に配慮して勤務体制を組むよう、災害時の勤務シフトの原則を検討しておく。

ポイント！

- 職員が長期間帰宅できない状況も想定されるため、職員の休憩・宿泊場所を検討・指定しておく。
- 職員の負担を軽減できるように職員の休憩・宿泊場所の確保や職員向けの備蓄を揃えるなど、職員に対する準備も行うこと。

4 自然災害BCP策定のポイント

第Ⅱ章 自施設での対応 2. 緊急時の対応

テキスト6 4ページ

10. 復旧対応

	対象	状況（いずれかに○）	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大／軽微／問題なし	
	エレベーター	利用可能／利用不可	
	電気	通電 / 停電	
	水道	利用可能／利用不可	
	電話	通話可能／通話不可	
	インターネット	利用可能／利用不可	
	...		

ポイント！

- 被害のあった箇所は写真を撮り、記録しておく。
- 建物・設備の保守管理業者、食事関係の業者など業務委託先や取引先の連絡先をリスト化しておく。

第Ⅲ章 他施設との連携

1. 連携体制の構築
2. 連携対応

4 自然災害BCP策定のポイント

自然災害（地震・水害等）BCPフローチャート



1. 連携体制の構築

- (1) 連携先との協議
- (2) 連携協定書の締結
- (3) 地域のネットワーク等の構築・参画

ポイント！

- 平常時から他施設・他法人と協力関係を築くことが大切。
- 単に協定書を結ぶだけでなく、普段から良好な関係を作る
- 高齢者施設だけでなく、医療機関、社会福祉協議会、自治体等の多様な関係者が災害時に支援し合う「ネットワーク」を構築することが望ましい。

2. 連携対応

- (1) 事前準備
- (2) 利用者情報の整理
- (3) 共同訓練

ポイント！

- 他施設・他法人との連携について合意が得られれば、具体的にどのように支援し合うか、掘り下げて内容を協議していくことが大切です。
- 利用者の情報がなければ受入れ先の施設でのケアの提供に支障をきたす恐れがあります。利用者情報をまとめた資料は常に用意しておき、渡せるようにしておきましょう。
- 感染症流行下では、紙媒体は感染物として扱われることもあります。利用者情報等はメール等で送れるように整理しておくことも大切です。

第Ⅳ章 地域との連携

1. 被災時の職員の派遣
2. 福祉避難所の運営

4 自然災害BCP策定のポイント

自然災害（地震・水害等）BCPフローチャート



3

自然災害BCP策定のポイント

第IV章 地域との連携

テキスト78ページ

1. 被災時の職員の派遣

(災害福祉支援ネットワークへの参画や災害派遣福祉チームへの職員登録)

- ・東京都「東京都災害福祉広域支援ネットワーク」



出典：東京都社会福祉協議会

2. 福祉避難所の運営

- (1) 福祉避難所の指定
- (2) 福祉避難所開設の事前準備

- 福祉避難所の指定を受けた場合、自治体との協定書を締結するとともに、受入可能人数、受入場所、受入期間、受入条件など諸条件を整理して記載しておく。
- 社会福祉法人の場合、社会福祉施設の公共性を鑑みれば、可能な限り福祉避難所の指定を受けることが望ましい。
- 仮に指定を受けていない場合でも、被災時に外部から要援護者や近隣住民等の受入の要望に沿うことができるよう、諸条件を整理しておく。

ポイント！

- ▶ 受入にあたっては支援人材の確保が重要です。専門人材の支援が受けられるように社会福祉協議会などの関係団体や支援団体等と支援体制について協議し、ボランティアの受入方針等について検討しておきましょう。

まとめ

まとめ

1. **まずは書いてみましょう！**

大事なことは、ひな形等を有効に活用しながら策定をはじめること

2. **研修・訓練（シミュレーション）を定期的実施すること！**

大事なことは、BCP策定で終わらず、周知・共通認識を図ること

3. **適宜更新を実施し、継続的に運用していくこと！**

大事なことは、「課題の洗い出し」と「見直し」を繰り返し、改善していくこと

利用者や職員を守るのは皆さんです！！

できることから始めましょう！！

研修動画のご紹介

- 介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）作成支援に関する研修

厚生労働省

介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）作成支援に関する研修

ガイドライン資料と研修動画の構成

介護施設・事業所における業務継続ガイドライン等について

動画の構成

動画	新型コロナウイルス感染症	自然災害
1. 研修の趣旨	00:00:00	00:00:00
2. 業務継続計画（BCP）の重要性	00:00:00	00:00:00
3. 業務継続計画（BCP）の作成手順	00:00:00	00:00:00
4. 業務継続計画（BCP）の検証と見直し	00:00:00	00:00:00
5. 業務継続計画（BCP）の周知と実施	00:00:00	00:00:00
6. 業務継続計画（BCP）の更新	00:00:00	00:00:00



ご自身の施設の
介護サービス類型
に合った項目を確
認いただき、ご視聴
ください。